

記事モジュールの拡張設定資料



- 1-1 拡張項目の設定箇所
- 1-2 拡張項目(各項目設定以外)
- 1-3 設定項目
- 1-4 入力制限について
- 1-5 グループ化の設定方法

2. 各項目別の設定方法

- 2-1 選択形式
- 2-2 複数選択(チェックボックス)
- 2-3 画像
- 2-4 表組(テーブル)
- 2-5 関連情報選択
- 2-6 WysiWygエディタ
- 2-6 ファイル

3. テンプレート上の表記方法(単品表示)

- 3-1 テキスト・テキストエリア・Wysiwyg・日付・html
- 3-2 選択形式
- 3-3 画像
- 3-4 複数選択(チェックボックス)
- 3-5 リンク
- 3-6 都道府県
- 3-7 ファイル
- 3-8 テーブル
- 3-9 地図
- 3-10 関連情報
- 3-11 音声ファイル

4. テンプレート上の表記方法(グループ表示)

- 4-1 基本形サンプル
- 4-2 テキスト・テキストエリア・Wysiwyg・複数選択・日付・都道府県・html
- 4-3 選択形式
- 4-4 画像
- 4-5 リンク
- 4-6 ファイル
- 4-7 テーブル
- 4-8 地図
- 4-9 関連情報
- 4-10 音声ファイル

5. 入力があったら表示させる方法

- 5-1 単品表示の時
- 5-2 グループ表示の時



1-1 拡張項目の設定箇所

P	● グループ 追加						
コンテン	レツ更新	>> 記事 >> 記事(ブループ一覧				
	公開状	況 ▼ 検索					
1/t	ф 1_4						
417	+ 1-4						
	公開	グループID	グループ名			並び順	最終更新日
	1	1	トピックス	ja en	記事作成 記事一覧 設定) (1)	2014/06/18(水) 12:22:50
	v	2	Sample	ia on	記事作成 記事一覧 設定	0	2012/02/09(木) 18:55:21

①[コンテンツ更新]>[記事]>拡張項目を設定したい記事グループの[設定]をクリックします。

トピックス記事グ							
コンテンツ更新 >> 記事 >> 記事/	グループ一覧 >> 記事グループ編集				関連情報:0件		
記事グループ 記事	事一覧 記事編集	カテゴリ設定 フ	アップロード	ダウンロード			
▶日本語 (作成済) →英語 (未	作成) ▶翻訳者へ依頼する						
グループID	1						
グループ名 必須	トピックス						
概要				7			
並び順(大きい方が上)	0						
記事に設定できるカテゴリ 数	1 ▼ ?♥ カテゴリを3個まで増や	せます。デフォルトは1個7	ਟਰ.				
▲ 拡張項目	●設定する	2)					

②[設定する]をクリックして、拡張項目の設定を開きます。

1-2 拡張設定(各項目設定以外)

▼ 管理画面(/topics/topics_group_edit/)

拡張項目	
日付を利用しない	□有効にする
投稿時間も設定する 2	同有効にする
3) ◉WYSIWYG ◎テキストエリア ◎Wysiwygか拡張項目かを選択 ◎利用しない
本文の入力方法	
4	wysiwyg_options:

■日付を利用しない→OFF・投稿時間も設定する→ON の場合

シーズン 必須	2013 🗸]
日付必須	2014/06/19 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	時刻:16 ↓:50 ↓

■日付を利用しない→ON の場合



- 1 日付を利用しない:記事に日付情報を持たず、 並び順は表示順で制御する場合はON
- 2 投稿時間も設定する:記事に日付情報を持た せた場合(上記項目でONでない場合)に 日付とあわせて記事に時間情報も持たせる場 合はON
- ③ 本文の入力方法: WYSIWYG ・テキストエリア・ Wysiwygか拡張項目かを選択・利用しない から選択
- wysiwyg_options:追加で設定したい項目
 ※「2-6 Wysiwygエディタ」参照



1-3 設定項目

記事の拡張には、以下の項目を設定することができます。設定できる項目数は30個です。

・テキスト ・テキストエリア Wysiwyg · 選択形式 複数選択(チェックボックス)
 ・
 ・
 画像
 ・リンク •日付 都道府県 ・ファイル ・表組み(テーブル) 地図 • 関連情報選択 html ・音声ファイル ・グラフ

ID	親項目	項目名 注釈	設定項目	入力制 限	並び順(大きい方 が上)
01	選択なし ▼を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▼	項目名: (店名 注釈:	フテキスト 選択なし テキスト テキストエリア Wysiwyg	· ② 入力	900
(5) 02	選択なし ▼ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▼	項目名: 住所 注釈:	選択形式 複数選択(チェックボックス) 画像 リンク 日付 都道府県	入力	890
03	選択なし ▼を親項目 にする 繰り返し回数:1 ▼	項目名: 電話番号 注釈:	ファイル 天和み(テーブル) 地図 関連情報選択 html	入力	880
04	選択なし ▼ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▼	項目名: URL 注釈:	音声ファイル グラフ	入力	0
05	選択なし ▼ を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▼	項目名: 写真 注釈:	画像 width::400 height::300	入力	
	選択なし ▼ を親項目 にする	項目名:	選択なし	-	

①入力項目の形式を設定してください。(詳細は次ページで説明)

2必須で入力させたい場合は、[入力]をクリックして、必須設定に チェックを入れてください。

設定項目がテキストの場合は、入力制限や文字数制限も設定できます。 ③項目によっては、詳細な設定が必要ものもあります。(2.各項目の設定方法 を参照) ④注釈を入力しておくと、記事入力画面に表示されます。 ⑤拡張項目のIDは、表示の際に必要になってきます。(3.テンプレート上の表記方法 を参照)



<u>1-4 入力制限について</u>

入力制限は設定項目によって異なります。

ID	親項目	項目名 注釈	設定項目	入力制限	並び順(大きい方が上)
	選択なし ▼ ^{を親} 項目にする 繰り返し回数:	項目名: 説明文 注釈:	テキストエリア ▼	入力	500
01	1 •		🧐 記事編集時に、入力フォームを変更	したい場合は	入力してください。

▼ 入力制限設定ウインドウ

■許可するタグ ■script

OK Cancel

入力制限設定 ・必額設定 心須 OK Cancel	 必須設定のみ テキストエリア Wysiwyg 選択形式 複数選択(チェックボックス) 画像 リンク 日付 都道府県 	入力制限設定 ●必須設定 ●必須 ●入力制限 ●利限なし ●オールアドレス ○TEL ●郵便番号 ○URL ●数値 □正規表現	 ● 必須設定/文字数制限 テキスト テキスト(オートコンプリート)
入力制限設定 ●必須設定	■ 必須設定/許可するタグ • html	OK Cancel	



1-5 グループ化の設定方法

同じ項目を繰り返し入力したい時は、親項目を決めてグループ化させると便利です。

(例)「店名」・「住所」・「電話番号」・「URL」・「写真」を複数回入力したい

Pizza Diverta	ID 親項目 項目名 注釈 設定項目	入力制 酸 が上)
東京都新宿区〇〇〇14-3-3 03-1111-1111 http://ムムムムムムムム	2 選択なし ◆を親項目 にする 項目名: 店名 テキスト 01 繰り返し回数: 1 ▼	▼ 入力 900
CAFF Diverta 東京都港区〇〇〇14-3-3	1 選択なし、▼を親項目 選択なし、 店名 注釈: 1 ▼ 単語 注釈: 1 ▼	▲
••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	URL ・を親項目 項目名: テキスト 03 繰り返し回数: 1 マ 注釈:	▼ 人力 880
BAKERY Diverta 東京都港区〇〇〇14-3-3 03-2222-2222 http:/// 0.0.0.0.0.0.0.0	店名 ◆を親項目 項目名: テキスト しする URL 繰り返し回数: 1 ◆ 注釈:	▲
	店名 ▼を親項目 項目名: 画像	▼

まず、繰り返し入力したい項目を全て設定してください。 ここでは、「店名」・「住所」・「電話番号」・「URL」・「写真」の各項目を設定します。

①その後、親項目を指定します。親項目は、必ず入力するものにしてください。ここでは「店名」を親項目にしました。②親項目には、繰り返しの回数を指定してください。最高30回までです。



2-1 選択形式

プルダウン形式の入力項目を設定できます。 [キー]::[値]の形で入力してください。

(例)

apple::リンゴ orange::オレンジ banana::default::バナナ ※ [キー] と [値] の間に default を入れると 入力画面でその値がデフォルトで選択されます。 ※[キー] は 重複しないこと。





2-2 複数選択(チェックボックス)

チェックボックス形式の入力項目を設定できます。 [キー]::[値]の形で入力してください。

(例)

apple::リンゴ orange::オレンジ banana::バナナ separator::
 ※[キー] は 重複しないこと。 ※[separator::
]を設定すると、入力画面でチェックボックスが縦に並びます。

[設定画面]

	項目名: 果物2 注釈:	複数選択(チェックボックス) ▼ apple::リンゴ orange::オレンジ banana::バナナ	項目名: 果物2 注釈:	複数選択(チェックボックス) ▼ apple::リンゴ orange::オレンジ banana::バナナ separator:: <br< th=""></br<>
[,	入力画面]			
	果物2	ロリンゴ ロオレンジ ロバナナ	■リ ■オ ■パ	ンゴ レンジ ナナ



2-3 画像

画像の高さと幅を、3サイズまで設定できます。 1つの画像を登録すると、設定した3サイズの画像が自動で作られます。 登録可能な画像は、GIF・JPEG・PNG です。 キャプション入力欄の設定もできます。

(例)

width_L::400	※ 何も設定しないと、登録する画像のサイズそのままで登録されます。				
height_L::300	※1サイズで構わない時は、width::幅 height::高さ のみ設定してください。				
width::200					
height::150	※ 画像の 縦 慎 に は 変 史 さ れ ま せ ん。 ち の 弘 宁 た し て が 500 - 横 500 の 画 侮 た 巻 録 す ろ と				
width_S::100	縦300・横300、縦150・横150、縦75・横75の3サイズが自動生成されます。				
height_S::75					
ext_no_image_explain::1	※ext_no_image_explain::1を設定すると、キャプション入力欄が表示されません。				

選択なし する 繰り返し回数:1 → 05	項目名: 写真 注釈:	画像 width_L::400 height_L::300 width::200 height::150 width_S::100 height_S::75
--------------------------------	-------------------	--



2-4 表組み(テーブル)

テーブルの行数、列数、セルの値などを設定できます。セルの設定は[行番号-列番号]です。 2-3 は、上から2行目・左から3列目のセルになります。

(例)

rows::5 cols::3 hide_cols::2,3 1-1TH::1 1-2TH::1 1-3TH::1 1-1LOCK::1	 ※row::5 行の数です。 ※cols::3 列の数です。 ※hide_cols::2 入力がない場合、非表示にする列を指定できます。 複数の列を指定するには、「1,3,5」にように「,」で区切ります。 ※1-1TH::1 セルのタグが になります。 ※1-1LOCK::1 セルの値を変更できないようになります。 ※1-1::商品名 セルをLOCKした時に、表示させる値です。
1-2LOCK::1	
1-3LOCK::1	

1-1::商品名 1-2::数量

1-2... 奴里

1-3::価格

 商品名
 数量
 価格

 テーブル

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「



2-5 関連情報選択

他のモジュールのコンテンツを、関連情報として選択できるように設定します。 module::モジュール名の形で設定してください。

(例)

module::topics group_id::9 ※ 対応モジュール名 topics(記事)、staticcontents(自由HTML)、member(メンバー)の3つです。 ※ group_id::記事グループID は、topics 時のみ設定可能です。

[設定画面]							
選択なし を親項目にする 14 繰り返し回数: 1 ▼	 項目名: 関連情報 注釈: 	関連情報選択 module::topics group_id::9 310					
[入力画面]							
商品マスター	<選択なし> シーズン マー-月マ果物 						



2-6 Wysiwygエディタ

色や大きさ、ツールバーなどををカスタマイズできます。

(例)

uiColor::#ff0000	← 色指定(red などの文字指定でも大丈夫です)
width::450	←幅
height::300	← 高さ
removePlugins::font,format	← ツールバーから不要なものを削除
tooldar::dasic	← ツールバーがシンプルなものになります

※設定できる項目 <u>http://docs.cksource.com/ckeditor_api/symbols/CKEDITOR.config.html</u>

[設定画面]	[入力画面]		
Image: Imag	B I 注三 注 ● リンク挿入編集 ● 2 -		



2-7 ファイル

ファイルを設定します。形式を指定して特定のファイルのみアップロードすることも可能です。 (例)

file_type::*.jpg;*.gif;*.png;
ext_no_file_name::1

← ファイルタイプを指定
←「ファイル名」入力欄を非表示にします。





3-1 テキスト・テキストエリア・Wysiwyg・日付・html

{\$topicsData.ext_col_01}
{\$topicsData.ext_col_01|nl2br}

①赤の数字は、拡張項目のIDです。

※後ろに |nl2br をつけると、変数内の全ての改行文字を
タグに置換します。 テキストエリアの時に使用してください。

	親項目	項目名 注釈	設定項目
01	選択なし ▼を親項目 にする 繰り返し回数: 1 ▼	項目名: お名前 注釈:	▼ √
02	選択なし ▼を親項目 にする 繰り返し回数:1 ▼	項目名: 一言メッセージ 注釈:	▼ ▼

※注意! \$topicsData の部分は、各テン	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row



3-2 選択形式

{\$topicsData.ext_col_04} (←左側の値) {assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='04' ext_type='value'} (←右側の値)

1 04	選択なし にする 繰り返し回数: 1 ▼	▼を親項目	項目名: 果物 注釈:	選択形式 apple::リンゴ orange::オレンジ banana::default::バナナ
				4

① 赤の数字は、拡張項目のIDです。 ext_type の値(青い部分)を value と指定してください。

リンゴを選択している場合は、下記のように表示されます。 {\$topicsData.ext_col_04} → apple {assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='04' ext_type='value'} → リンゴ

※注意! \$topicsData の部分は、各テン	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row



3-3 画像

05	選択なし する	▼を親項目に	項目名: 写真 注釈:	画像 width_L::400 height_L::300 width::200 height::150 width_S::100 height_S::75
----	------------	--------	-------------------	--

①赤の数字は、拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)をサイズごとに「url」「url_S」「url_L」と変更してください。

※「画像の説明」の表記方法は 3-1テキストエリアと同じで {\$topicsData.ext_col_05|nl2br}です。

※注意! \$topicsData の部分は、各テン	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row



3-4 複数選択(チェックボックス)①

◆選択されたものを表示

{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='06' ext_type= 'value'}
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='06' ext_type='value'
separator="
" }

1 06	選択なし → を親項目にする 繰り返し回数: 1 →	項目名: 果物 注釈:	複数選択(チェックボックス) apple::リンゴ orange::オレンジ bapapa::バナナ	•	入力
				н	

①赤の数字は、拡張項目のIDです。
 ext_type の値(青い部分)を value と指定してください。

※separator=""を追加すると、区切りの表示を指定できます。指定がない場合は「/」区切りです。

(例)【指定なし】リンゴ/オレンジ/バナナ 【 separator ="・" 】リンゴ・オレンジ・バナナ
 【 separator ="

 オレンジ
 バナナ

※注意! \$topicsData の部分は、各テン	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row



3-4 複数選択(チェックボックス) ②

◆すべて表示させて選択済みのものにだけ class を付与

```
{foreach from=$extensions_config item=ext_config}
 {if $ext_config.no eq 06}
 {foreach from=$ext_config.options key=key item=item}
 <p{if $row.ext_col_06|rcms_str_exists:$key}
 class="on"{/if}>{$item}
 {/foreach}
 {/if}
{/foreach}
```

※必ずページ設定のパラメータに ext_config_flg=1
 を設定してください !
 オレンジを選択していたら
 リンゴ
 class="on">オレンジ
 バナナ
 となります。

①赤の数字は、拡張項目のIDです。

1	選択なし → を親項目にする 操り返し回数: 1 →	項目名: 果物	複数選択(チェックボックス) apple::リンゴ	•	
06		注釈:	orange::オレンジ bapapa::バナナ		入力
				æ	

※注意! \$topicsData の部分は、各テン	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row

🐮 (c)Diverta

3-5 リンク

{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='07' ext_type='url'}
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='07' ext_type= 'value'}

赤の数字は、拡張項目のIDです。

ext_typeの値(青い部分)を、「url」とすると url が 「value」とすると title が表示されます。

[入力画面]	
url:	
http://www.r-cms.jp/	i ← url
title:	
ニュースはこちら	⊶ value

※タイトルにURLのリンクを貼りたい時は

{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='07' ext_type= 'value'}

となります。

※注意! \$topicsData の部分は、各テン	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row



 $(\leftarrow url)$ $(\leftarrow title)$

3-6 都道府県

{\$topicsData.ext_col_09}	$(\leftarrow value)$
{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='09' ext_type='value'}	(←県名)

赤の数字は、拡張項目のIDです。

「東京都」を選択している場合は、下記のように表示されます。 {\$topicsData.ext_col_09} → 13 {assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='09' ext_type='value'} → 東京都

※注意! \$topicsData の部分は、各テン	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row



3-7 ファイル

{\$topicsData.ext_col_10}

赤の数字は、拡張項目のIDです。 ext_type の値(青い部分)を、url と指定してください。

{\$topicsData.ext_col_10} には入力した「ファイル名」 が表示されます。 ファイル名を入力しない場合は、任意の文字と置き換えてください。

(例)

ファイルダウンロード はこちら

※注意! \$topicsData の部分は、各テン	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row



3-8 テーブル

{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='11' ext_type='table'}

赤の数字は、拡張項目のIDです。 ext_typeの値(青い部分)をtableと指定してください。

```
※HTMLにクラス等を加えたい場合は、下記のソースを使用してください。こちらでも表示可能です。
{assign topics ext ext columns=$topicsData.ext columns.straight id='11' ext type='cells' var='ext column'}
{foreach from=$ext column.show value item=row name=ext table}
  {foreach from=$row item=cell name=ext_cell}
     {if $cell.tag == 'th'}
      >
     {else}
      {/if}
     {if $cell.lock}{$cell.constant}{else}{$cell.value}{/if}
     </{$cell.tag}>
   {/foreach}
  {/foreach}
```

※注意! \$topicsData の部分は、各テン	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row



3-9 地図

◆iframe でページ内に表示

```
<iframe id="googlemap" src="{assign_topics_ext print=1 ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight
id='12' ext_type='gmap_url' width='300' height='250'}" name="googlemap" marginheight="0"
marginwidth="0" frameborder="0" width="300" height="250"></iframe>
```

赤の数字は、拡張項目のIDです。ext_typeの値(青い部分)をgmap_urlと指定してください。 地図の表示サイズは、2か所指定してください。

◆googlemap へのリンク

```
{assign_topics_ext ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight id='12' ext_type='value' var='gmap_val'}
<a
href="http://maps.google.co.jp/maps?hl=ja&q={$gmap_val.gmap_y},{$gmap_val.gmap_x}&z={$gmap_val.gmap_val.gmap_zoom}&t=m" target="_blank">googlemap</a>
```

赤の数字は、拡張項目のIDです。ext_typeの値(青い部分)をvalueと指定してください。

※注意! \$topicsData の部分は、各テンプ	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row



3-10 関連情報

◆記事

{assign_topics_extrel var="ext_top" topics=\$topicsData no="19"}	(←この1行は必ず必要です)
{\$ext_top.subject}	(←関連記事のタイトル)
{\$ext_top.contents}	(←関連記事のWysiwyg)
{\$ext_top.ext_col_01}	(←関連記事の拡張:単品)
	(←関連記事の拡張画像:単品)

◆関連させている記事の拡張設定がグループ(繰り返し)の場合

{assign_topics_extrel var="ext_top" topics=\$topicsData no="19"}
{assign_topics_ext var=group01_04 id='04' ext_type='group'
ext_columns=\$ext_top.ext_columns.straight}
{assign_topics_ext var=group01_04_text id='04' ext_type='value'
ext_columns=\$group01_04.0}
{assign_topics_ext var=group01_03_image id='03' ext_type='url'
ext_columns=\$group01_04.0}

{\$group01_04_text} {\$group01_03_image}

赤の数字は、拡張項目のIDです。 紫の数字は、関連させている記事の拡張項目IDです。 オレンジの数字は、関連させている記事の、グループ設定で親になっている拡張項目のIDです。 ext_type は、適宜変更してください。(各項目のグループ表示方法参照)



(←この1行は必ず必要です)

(←この1行は必ず必要です)

(←表示させたい拡張をセット)

(←表示させたい拡張をセット)

(←関連記事の拡張)

(←関連記事の拡張画像)

3-10 関連情報のつづき

◆メンバー

◆自由HTML

```
{assign_topics_extrel var="ext_top" topics=$topicsData no="21"}
{ext_top.contents}
```

(ヘノノハーの子具)

(←この1行は必ず必要です)(← Wysiwyg)



3-11 音声ファイル

{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='15' ext_type='audio'}

赤の数字は、拡張項目のIDです。 ext_typeの値(青い部分)をaudioと指定してください。

※「キャプション」の表記方法は 3-1テキストエリアと同じで {\$topicsData.ext_col_12|nl2br} です。 ※登録可能な音声フィルは、mp3とm4a です。

※注意! \$topicsData の部分は、各テン	プレートによって下記のように変更してください。
【記事詳細 詳細用】	\$topicsData
【一覧 一覧用 または リスト(概要付)】	\$row
【一覧 ヘッドライン5行】	\$topicsList[mydata]
【関連記事】	\$row



4-1 基本形サンプル

{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight}	(←この1行は必ず必要です)
<h2>{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='01' ext_type='ext_parent_col_nm'}</h2> (←親項目)	(←親項目)
{foreach from=\$group01 item=cols name=ext_item}	(←foreach 開始)
(↓ここから表示したい拡張IDを全てセットする) {assign_topics_ext var=val01 id='01' ext_type='value' ext_columns=\$cols} {assign_topics_ext var=url02 id='02' ext_type='url' ext_columns=\$cols} (↓ここからが実際に繰り返し表示されるソースです)	この間に表示させたい拡張を セットしてください。 拡張の種類によって表記が 異なりますので、詳細な設定 方法は次ページ以降を ご参照ください。
<h3> {\$val01}</h3> (←店名) (←写真)	タグは自由につけられます。
{/foreach}	(← foreach 終了)

① 01	店舗情報 練り返し回数: > ▼ 親項目	項目名: 店名 注釈:	テキスト ▼
2 02	店名 ▼ を親項目にす る	項目名: 写真 注釈:	画像 ▼

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。 赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)は、それぞれ拡張の種類 によって異なります。

{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='01' ext_type='ext_parent_col_nm'} で親項目の表示ができます。 (ここでいう「店舗情報」)

{\$val01} → 拡張項目ID1 が表示されます。 val01 の部分は、var で設定した値を書いてください。



4-2 テキスト・テキストエリア・Wysiwyg・複数選択・日付・都道府県・html

{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=\$group01 item=cols name=ext_item}
 {assign_topics_ext var=val01 id='01' ext_type='value' ext_columns=\$cols}
 {assign_topics_ext var=val02 id='02' ext_type='value' ext_columns=\$cols}

{\$val01}

{\$val02}

{/foreach}

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。 赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。 ext_typeの値(青い部分)を value と指定してください。



4-3 選択形式

{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=\$group01 item=cols name=ext_item}
 {assign_topics_ext var=val04 id='04' ext_type='value' ext_columns=\$cols}

{\$cols.04.value} {\$val04}

{/foreach}

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。 赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。 ext_typeの値(青い部分)をvalueと指定してください。

{\$cols.04.value} → 左側の値 apple {\$val04} → 右側の値 リンゴ



4-4 画像

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
   {assign_topics_ext var=url05 id='05' ext_type='url' ext_columns=$cols}
   {assign_topics_ext var=url05_S id='05' ext_type='url_S' ext_columns=$cols}
   {assign_topics_ext var=url05_L id='05' ext_type='url_L' ext_columns=$cols}
```

```
<img src="{$url05}">
<img src="{$url05_S}">
<img src="{$url05_L}">
```

{/foreach}

1	店名(テキスト) する	▼を親項目に	項目名: 写真	画像 width_L::400
2 05)		25.71	height_L::300 width::200 height::150 width_S::100 height_S::75

①紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。

②赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)をサイズごとに「url」「url_S」「url_L」と指定してください。



4-5 リンク

{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=\$group01 item=cols name=ext_item}
 {assign_topics_ext var=url07 id='07' ext_type='url' ext_columns=\$cols}
 {assign_topics_ext var=val07 id='07' ext_type='value' ext_columns=\$cols}

```
<a href="{$url07}">{$val07}</a>
```

{/foreach}

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。 赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)を、「url」とすると url が 「value」とすると title がセットされます。

[入力画面]	
url:	
http://www.r-cms.jp/	⊶ url
title:	
ニュースはこちら	⊶ value



4-6 ファイル

{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=\$group01 item=cols name=ext_item}
 {assign_topics_ext var=url10 id='10' ext_type='url' ext_columns=\$cols}
 {assign_topics_ext var=val10 id='10' ext_type='value' ext_columns=\$cols}

```
<a href="{$url10}">{$val10}</a>
```

{/foreach}

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。 赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_typeの値(青い部分)を 「url」とするとアップしたファイルのパスが 「value」とすると ファイル名 がセットされます。

[入力画面]	
ファイル ← url	
▲ ファイルを差し替える	
こ前は950ファイル名: 2010年度資料	← value



4-7 テーブル

{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=\$group01 item=cols name=ext_item}
 {assign topics ext var=table11 id='11' ext type='table' ext columns=\$cols}

{\$table11}

{/foreach}

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。 ext_typeの値(青い部分)を table と指定してください。

※HTMLにクラス等を加えたい場合は、下記のソースを使用してください。こちらでも表示可能です。

{foreach from=\$table11_2.show_value item=row name=table11}

{foreach from=\$row item=cell name=ext_cell}

{if \$cell.tag == 'th'}{else}{/if}

{if \$cell.lock}{\$cell.constant}{else}{\$cell.value}{/if}

</{\$cell.tag}>

{/foreach}

{/foreach}



4-8 地図

{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight} {foreach from=\$group01 item=cols name=ext_item}

{assign_topics_ext var=gmap12 id='12' ext_type='gmap_url' ext_columns=\$cols width='300' height='250'}

<iframe id="googlemap" src="{\$gmap12}" name="googlemap" marginheight="0" marginwidth="0"
frameborder="0" width="300" height="250"></iframe>

{/foreach}

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。 赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。 ext_typeの値(青い部分)をgmap_urlと指定してください。

地図の表示サイズは、2か所指定してください



4-9 関連

◆記事

{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight}

{foreach from=\$group01 item=cols name=ext_item}

```
{assign_topics_ext var=val13 id='13' ext_type='data' ext_columns=$cols}
```

{\$val13.topics_id} (関連記事の記事ID) {\$val13.subject} (関連記事のタイトル) {\$val13.ext_col_02} (関連記事の拡張:設定が単品の場合) (関連記事の拡張画像:設定が単品の場合)

{/foreach}

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。 赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。 オレンジの数字は、関連させている記事の拡張項目IDです。 ext_typeの値(青い部分)をdataと指定してください。



4-9 関連 のつづき

◆関連させている記事の拡張設定がグループ(繰り返し)の場合

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
```

```
{assign_topics_ext var=val13 id='13' ext_type='data' ext_columns=$cols}
```

```
{assign_topics_ext var=group01_03 id='03' ext_type='group' ext_columns=$val13.ext_columns.straight}
```

```
{assign_topics_ext var=group01_03_text id='03' ext_type='value' ext_columns=$group01_03.0}
```

```
{assign_topics_ext var=group01_04_image id='04' ext_type='url' ext_columns=$group01_03.0}
```

{\$group01_03_text} (関連記事の拡張:1つ目が表示されます)
 (関連記事の拡張画像:1つ目が表示されます)

{/foreach}

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。 赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。 緑の数字は、関連させている記事の、グループ設定で親になっている拡張項目のIDです。 オレンジの数字は、関連させている記事の拡張項目IDです。 ext_typeの値(青い部分)は適宜変更してください。



4-9 関連 のつづき

◆メンバー

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
{assign_topics_ext var=val13 id='13' ext_type='data' ext_columns=$cols}
```

```
{$val13.disp_name}
<img src="/files/member/member_photo/s/{$val13.member_id}.jpg">
```

{/foreach}

◆自由HTML

```
{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=$group01 item=cols name=ext_item}
    {assign_topics_ext var=val13 id='13' ext_type='data' ext_columns=$cols}
```

{\$val21.contents}

{/foreach}

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。 赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。 ext_typeの値(青い部分)を data と指定してください。



4-10 音声ファイル

{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight}
{foreach from=\$group01 item=cols name=ext_item}
 {assign_topics_ext var=audio15 id='15' ext_type='audio' ext_columns=\$cols}
 {assign_topics_ext var=val15 id='15' ext_type='value' ext_columns=\$cols}

{\$audio15} {\$val15}

{/foreach}

紫の数字は、親に指定している拡張項目のIDです。 赤の数字は、表示させたい拡張項目のIDです。

ext_type の値(青い部分)を 「audio」とすると音声ファイル が 「value」とすると キャプション がセットされます。



5.入力があったら表示させる方法

5-1 単品表示の時

◆ {\$topicsData.ext_col_01} で表示させているもの

```
{if $topicsData.ext_col_01}
    {$topicsData.ext_col_01}
{/if}
```

```
◆ assign で表示させているもの 【方法A】block_topics_ext で囲む
```

{block_topics_ext ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='04' ext_type='value'}

{assign_topics_ext print=1 ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight id='04' ext_type='value'}

{/block_topics_ext}

```
※ext_typeの値(青い部分)は、拡張の種類によって変更してください。
```

※画像の場合は、 と書いてください。

```
◆ assign で表示させているもの 【方法B】assignする
```

```
{assign_topics_ext id='03' ext_columns=$topicsData.ext_columns var='file_url' ext_type='url'}
{if $file_url}
{$file_url}
{else}
登録なし
{/if}
```

※ext_type の値(青い部分)は、拡張の種類によって変更してください。
 ※{else} のあとに、登録がなかった場合に表示させたいものを書くことができます。(省略可)
 ※file_url は 好きなものに変更可能です。
 ※画像の場合は、 と書いてください。



5.入力があったら表示させる方法

5-2 グループ表示の時

{assign_topics_ext var=group01 id='01' ext_type='group' ext_columns=\$topicsData.ext_columns.straight} {foreach from=\$group01 item=cols name=ext_item}

{assign_topics_ext var=val01 id='01' ext_type='value' ext_columns=\$cols}
{assign_topics_ext var=val02 id='02' ext_type='value' ext_columns=\$cols}
{assign_topics_ext var=url09 id='09' ext_type='url' ext_columns=\$cols}

```
{if $val01}
<h2>{$val01}</h2>
{/if}
```

```
{if $url09}
<img src="{$url09}">
{/if}
```

{/foreach}

※表示に使う {\$var01} などに、if をつけて使ってください。

